

下級生時からマウンド上での佇まいに口マンを感じさせた大型左腕。馬力のある体が冬場のトレーニングの成果で厚く、よりたくましくなった。下半身主導の投球フォームから投じるストレートの強さが増し、変化球の精度もワンランクアップ。春先は全国レベルを目の当たりにして自信を失いかけたところもあったが、それも1つの経験。投球フォームを確認して原点回歸し、春の県大会準々決勝では八戸学院光星を完封した。

このボールが凄い! (ストレート)



観戦ポイント3箇条

- 長** 強い体から繰り出す各種ボール
- 課** マウンドでは「自分が一番」の自信
- 夏** 昨夏のように生き生きとした投球

Koki Kanabuchi

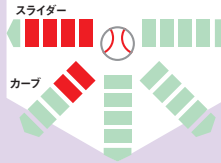
八戸工大一(青森)3年

金測 光希

投手/183cm83kg/左投左打

持ち球クオリティ

ストレート▶135~140キロ



| | | | |
|-------|-----|------|----|
| プロ注目度 | 将来性 | 体のキレ | B+ |
| B+ | B+ | 伸びしろ | B+ |
| | | メンタル | C+ |

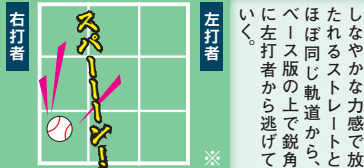
プロではこんな選手に

武内夏暉
(西武)



しなやかなフォームから放たれるストレートがついに最速150キロを計測。常時も138キロ~144キロ付近を計測し、ウイングショットのチェンジアップにも磨きがかかった。ここまでなかなか勝ち切れてはいないが、素材としての評価は九州最上位に浮上。5月の中九州フェスティバルでは侍ジャパンの前監督の栗山英樹氏も視察に訪れ、その素質を高く評価した。ロングインングの耐久性を見せつけ「結果」が伴えば、評価はさらに上昇する。

このボールが凄い! (チェンジアップ)



観戦ポイント3箇条

- 長** しなやかで力強い美フォーム
- 課** ロングインング・連投の耐久性
- 夏** ゲームメイクができれば最強

Shoma Kariu

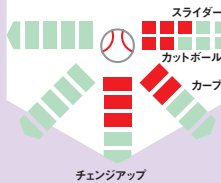
佐伯鶴城(大分)3年

狩生 聖真

投手/186cm72kg/右投右打

持ち球クオリティ

ストレート▶138~144キロ



| | | | |
|-------|-----|------|----|
| プロ注目度 | 将来性 | 体のキレ | B |
| B+ | B+ | 伸びしろ | B+ |
| | | メンタル | B |

プロではこんな選手に

岸孝之
(楽天)



※「このボールが凄い!」は捕手側から見たストライクゾーン